

第一章

市民が生涯にわたって いきいきくらすための学習体制の充実

第一節 生涯学習機会の充実

主たる担当課

学びたいときに学べる学習機会の充実	51101	生涯学習課
人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援	51102	生涯学習課
学習施設の整備・充実	51103	生涯学習課

第二節 生涯学習体制の整備

市民の学習活動を支える体制の整備	51201	生涯学習課
市民の学習を支える人材の確保と活用	51202	生涯学習課

第三節 スポーツの振興

スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用	51301	文化・スポーツ課
生涯スポーツの推進	51302	文化・スポーツ課
スポーツを楽しむ機会の充実	51303	文化・スポーツ課

第一節

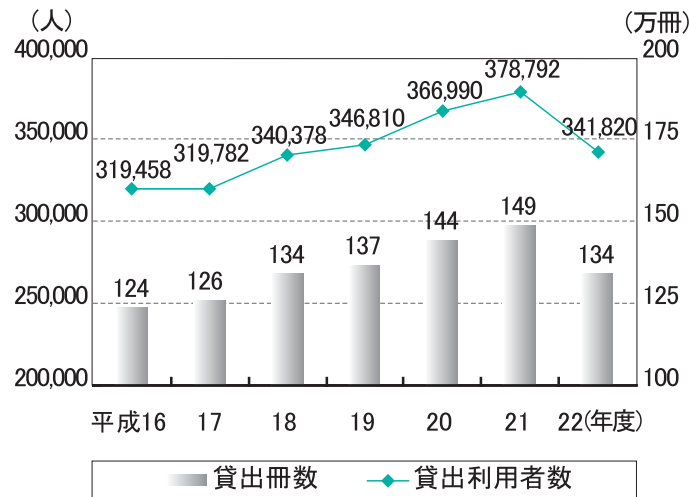
生涯学習機会の充実



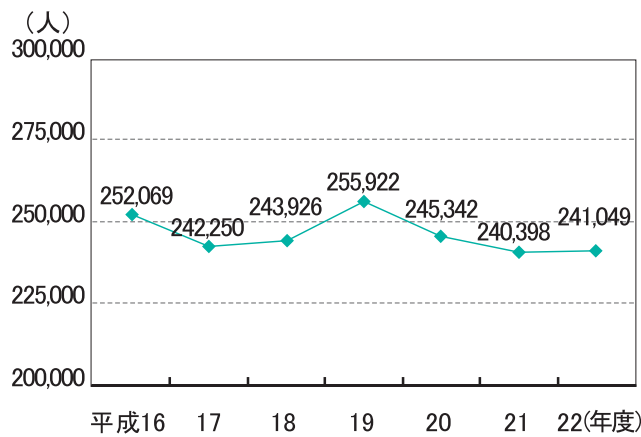
現状と課題

- 生涯学習とは、一人ひとりが自由な意志に基づき、自分に適した手段・手法により生涯にわたって学び、活動することです。
- 市では、多様化する市民ニーズに対応するため、生涯学習の中核施設として、平成14年に生涯学習センター・アピスタを開館しました。また、図書館や湖北地区公民館の開館日・開館時間を拡大するなど、サービスの向上に努めてきました。さらに、学校の余裕教室を地域交流教室として活用するとともに、小中学校の体育館、校庭や小学校プールなどの開放も実施してきました。
- また、市民一人ひとりがいつでも、どこでも、なんでも学ぶことのできる学習環境を整え、生涯学習に関する施策を総合的に推進することを目的として、平成21年5月に「生涯学習推進計画（第二次）」を策定しました。さらに、市が行うさまざまな学習事業を「あびこ楽校事業」として総合調整し、体系化して実施するとともに、市民の興味・関心を高める広報紙・情報誌の作成やホームページなどによる情報提供に努めています。
- 市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくためには、少子高齢化や情報化の進展、環境問題の顕在化などの時代の変化や、さまざまな市民のニーズに対応した学習の機会を提供していく必要があります。そのためには、公民館学級・講座や生涯学習出前講座、図書館での図書貸し出しや視聴覚ライブラリーでの視聴覚機材の貸し出し、鳥の博物館や白樺文学館の展示をはじめ、各種講座・講演会、観察会などの教育普及活動を充実する必要があります。また、学習を通して培った人間関係をもとに、市民の能力や経験、学習の成果をボランティア活動や市民活動などのまちづくり活動に自発的に発揮するためのしくみづくりが求められています。さらに、湖北地区や布佐地区においては、学習活動の拠点となる図書館や公民館を確保することが必要となっています。

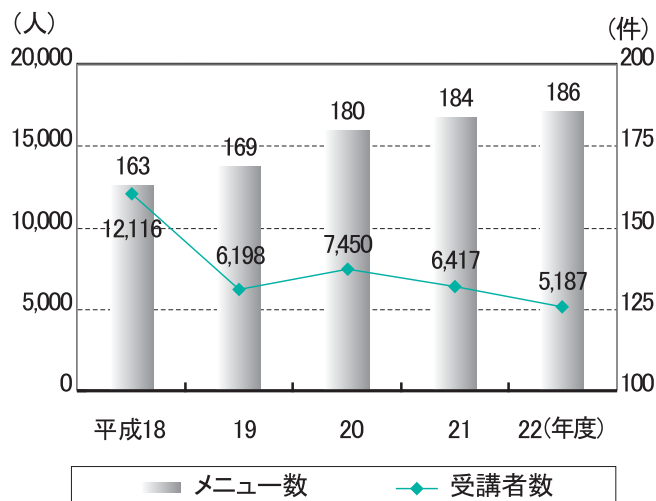
■図書館の利用状況



■公民館の利用状況



■生涯学習出前講座のメニュー数と受講者数



施策の展開

○学びたいときに学べる学習機会の充実

51101

市民が学びたいときに学ぶことのできるよう、図書館や鳥の博物館、白樺文学館、視聴覚ライブラリーなどの学習事業や公民館の学級・講座・生涯学習出前講座の拡充などにより、学習機会の充実に努めます。

○人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援

51102

市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、市民ニーズの高い社会や地域の課題などをテーマとした学習事業を実施します。また、まちづくりを担う人材が育つよう、市民の自主的な学習活動を支援します。

○学習施設の整備・充実

51103

学習の場の充実を図るため、公民館や図書館、鳥の博物館、白樺文学館などの施設の充実や、学習の拠点施設の整備を計画的に進めるとともに、学校施設など既存施設の有効活用を推進し、身近な場所で学習ができるようにします。

目標・指標

目標

- 市民が身近な場所で学習できる。 51101
- 学習サービスが充実し、市民が学びたいときに学ぶことができる。 51102
- 地域のまちづくりを担う人材が多数育成されている。 51103

指標

指標名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
生涯学習出前講座の受講者数	51101	5,187人	6,500人
生涯学習課・図書館・鳥の博物館の共催・後援件数	51102	29件	35件
市民一人あたりの図書等の貸出冊数	51102	9.8冊	10.4冊
アピスタ(公民館・図書館)の年間利用者数(図書館は入館者数)	51103	683,429人	717,600人

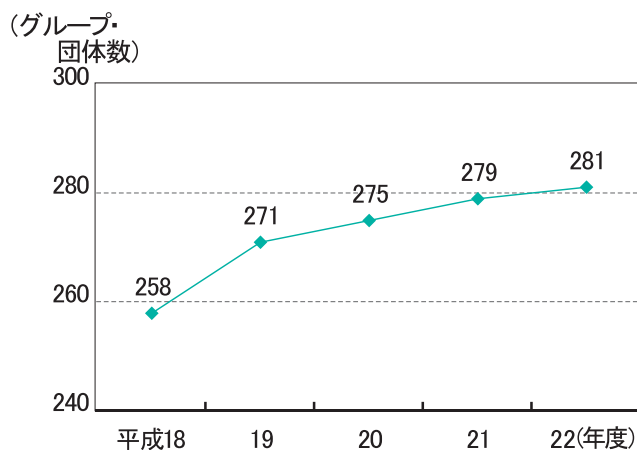
第二節 生涯学習体制の整備



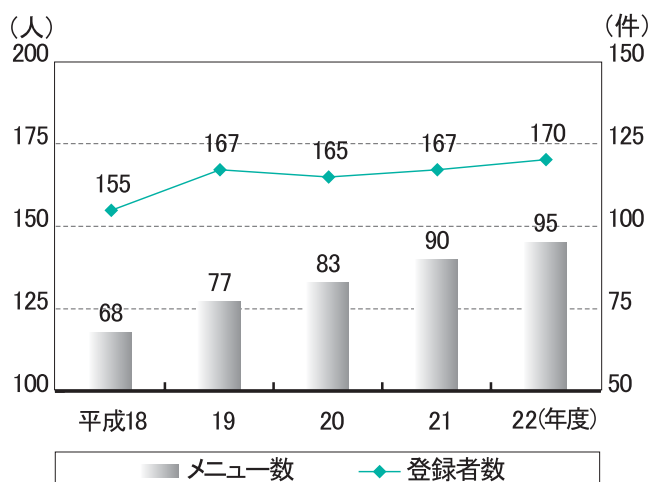
現状と課題

- 急速に進む少子高齢化、情報化、技術革新、国際化等の社会環境の変化によって、個々の生き方や価値観が多様化し、学習ニーズについてもますます多様化、専門化が進んでいます。
- 市では、平成21年5月に「生涯学習推進計画（第二次）」を策定しました。その推進組織として「あびこ楽校協議会」を設け、市が行っている学習事業を「あびこ楽校事業」として総合調整し、体系化して実施しています。
- あびこ楽校協議会では、あびこ楽校ガイドの発行、生涯学習出前講座の運営、生涯学習人材情報・団体グループ情報の提供、講演会の開催等による人材の活用など、市民の自主的・主体的な学習を支えるさまざまな支援を行ってきました。また、公民館では、社会や地域の課題について、継続的・体系的な学習機会を市民の年齢層に合わせて提供し、学習の成果を地域や日常生活にいかせるよう支援してきました。
- 図書館では、幅広い分野にわたる基本資料を収集し、市内大学や市外の図書館との相互協力体制を整備することにより、市民に必要な資料・情報の提供や、読書活動の推進に取り組んできました。また、鳥の博物館では、友の会や市民スタッフとの連携による調査やイベントなど、鳥と地域の自然を対象とした環境学習の実施体制を整備してきました。
- 今後も、市民一人ひとりの学習ニーズに合った支援を行うため、学習に関する情報発信や相談体制の充実が求められています。また、他の自治体や市民団体、大学、研究機関、企業などの得意分野をいかした連携を進めるなど、身近な生涯学習施設において、市民のニーズに応じた学習プログラムを提供できる体制の整備や情報ネットワークの充実が求められています。さらに、郷土の伝承を受け継いだ方、豊かな経験や技術を持った方、自己啓発を実践につなげた方や、異なる文化をもった外国人など、さまざまな能力をもった市民は市の財産であり、今後はこのような人材を発掘し、学習活動にいかしていくことが求められています。

■生涯学習活動団体・グループ数



■人材バンクの登録者数と
市民講師による出前講座のメニュー数



施策の展開

○市民の学習活動を支える体制の整備

51201

市民の学習活動を活発にするため、市が行う生涯学習関連事業の体系化や事業内容の充実、情報の共有化などを進めて、生涯学習振興に関する行政施策を総合的に推進します。また、学習に関する情報の収集や情報誌・インターネットなどを活用した情報提供、相談体制の充実を図るとともに、市内の学習活動団体・高校・大学・企業などとの連携を強化するなど、市民の学習活動を支援する体制を整備します。

○市民の学習を支える人材の確保と活用

51202

市民の専門的な技術・経験・知識などを学習活動にいかすため、人材バンクへの登録を進めて人材の確保を図るとともに、その活躍の場として、市民ニーズの高い社会や地域の課題などをテーマとした学習事業を実施して、人材の活用を図ります。

目標・指標

目標

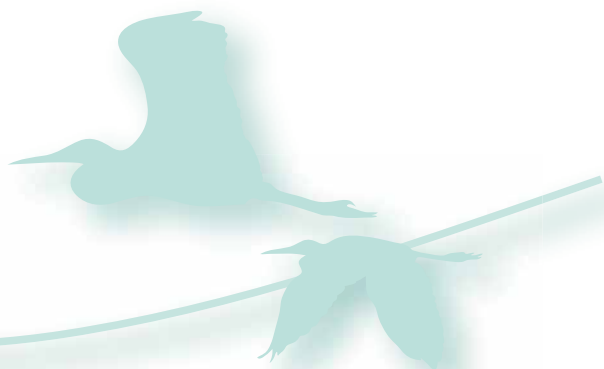
- 市民の学習活動を支援する体制が整備されている。 51201
- 人材の確保・活用が進み、市民の学習活動が充実している。 51202

指標

指標名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
生涯学習推進計画に位置づけられた事業の進捗率	51201	96%	100%
大学図書館との図書相互利用件数	51201	30件	32件
市民講師による生涯学習出前講座のメニュー数	51202	95件	100件

第三節

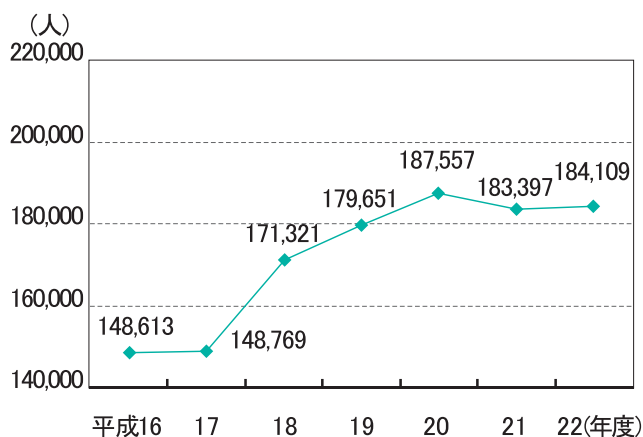
スポーツの振興



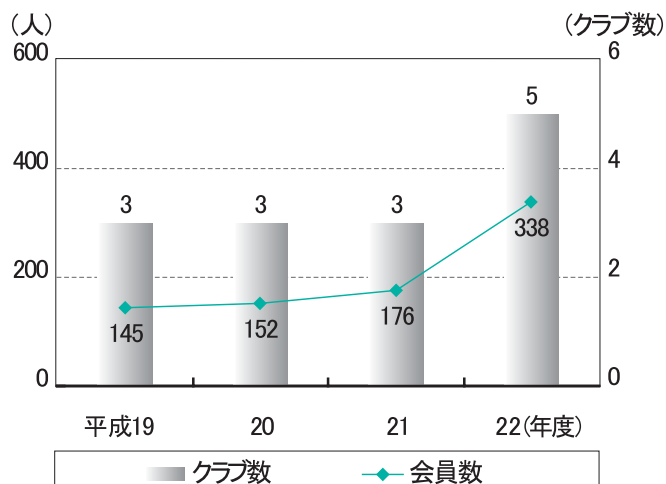
現状と課題

- 少子高齢化の進展など、社会環境や生活環境が大きく変化する中で、市民一人ひとりがそれぞれのライフスタイルに応じたスポーツとのかかわりを求めるようになったため、身近な地域において気軽にスポーツに親しめる環境を整え、健康づくりや交流を図ることが重要となっています。
- 我孫子市では、中学校区を単位とした6つの総合型地域スポーツクラブが設立されているほか、自主クラブの活動も盛んで、スポーツを通じた健康体力の保持・増進や地域の人々の交流が行われています。市では、こうした地域での取り組みを支援するとともに、市民体育大会や市民体力づくり大会、新春マラソン大会、スポーツ教室などを開催し、スポーツの振興に努めています。
- その一方で、市民体育館や学校施設などがスポーツ・レクリエーション活動の場として多くのスポーツ団体に利用されており、その利用は飽和状態となっています。
- そのため、民間施設の活用や既存施設の整備などにより活動場所を確保することが課題となっています。また、スポーツを通じた交流や健康づくりを一層進めるため、活動内容などのPRに努めるとともに、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブの育成に取り組んでいくことが必要となっています。さらに、地元出身のスポーツ選手など優秀な人材や大学・企業など地域の資源をいかして、生涯スポーツを支える人材を確保・育成し、スポーツの振興を図っていくことが求められています。

■ 市民体育施設・公園施設の延べ利用者数



■ 総合型地域スポーツクラブの数と会員数



■スポーツ大会の参加者数

(単位:人)

	平成16年度	17	18	19	20	21	22
市民体カづくり大会	1,360	1,576	1,380	2,045	3,326	2,005	1,956
手賀沼エコマラソン	8,523	8,801	8,594	8,001	9,378	9,488	9,303
新春マラソン大会	1,245	中止	1,139	1,693	1,851	1,735	1,709
市民体育大会	4,200	4,237	4,150	4,678	4,428	4,546	4,596
スポーツ教室	551	415	694	766	703	33	157
合計	15,879	15,029	15,957	17,183	19,686	17,807	17,721

施策の展開

○スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用 51301

安全で快適に活動できる環境を整備するため、市民体育館など市のスポーツ施設の適正な維持管理を行うとともに、民間や近隣市町の体育施設を活用するなど、活動場所の確保に努めます。

○生涯スポーツの推進 51302

健康の保持・増進や地域のコミュニケーションづくりを図るため、スポーツ推進委員などと連携し、誰もが参加できる総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。また、生涯スポーツを支える人材を確保するため、スポーツ指導者の養成に取り組みます。

○スポーツを楽しむ機会の充実 51303

気軽にスポーツを楽しめるよう、地元企業や大学との連携によるスポーツ教室や、市民体育大会等のスポーツイベントを開催して、参加機会の充実を図ります。

目標・指標

目標

- 市民が、安全で快適なスポーツ活動を行うことができる。 51301
- 市民が、生涯を通してスポーツに親しむことができる。 51302
- 市民が、気軽にスポーツを楽しむことができる。 51303

指標

指 標 名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
市民体育施設・公園施設の延べ利用者数	51301	184,109人	205,000人
総合型地域スポーツクラブの会員数	51302	338人	400人
スポーツ大会の参加者数 (市民体育大会・市民体カづくり大会・ 新春マラソン大会・手賀沼エコマラソン・ スポーツ教室)	51303	17,721人	21,100人